



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホウスイ
 コード番号 1352 URL <http://www.hohsui.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 昌明
 (氏名) 小林 留一

TEL 03-3543-3536

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	50,815	33.1	232	△40.4	263	△42.9	140	△43.3
26年3月期第3四半期	38,173	11.4	390	△8.7	461	△2.1	247	7.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 163百万円 (△46.9%) 26年3月期第3四半期 308百万円 (12.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	1.67	—
26年3月期第3四半期	2.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
27年3月期第3四半期	28,867		5,719		18.7	64.56		
26年3月期	24,515		5,727		22.1	64.56		

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 5,406百万円 26年3月期 5,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	2.00	2.00
27年3月期	—	—	—		
27年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	26.6	300	3.1	320	△16.0	160	△24.2	1.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】P3.「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	83,790,000 株	26年3月期	83,790,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	46,737 株	26年3月期	46,277 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	83,743,519 株	26年3月期3Q	83,744,544 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスによるデフレ脱却へ向けた経済政策等により、円安、株高が進行し、国内生産・海外輸出の回復への期待があるものの、設備投資はおおむね横ばいとなり、個人消費も節約志向が強まるなど、景気の先行きについては依然不透明な状況にあります。

水産・食品業界におきましては、円安による原材料の輸入価格の上昇や消費者の低価格志向・節約志向等が続く厳しい経営環境にありました。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き顧客のニーズに迅速に対応するとともに、増強してきた設備やグループの持つ機能を最大限に活用して収益の確保に努めてまいりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、新設事業所における新規顧客との取引開始等により前年同期比増収となりましたが、それに伴う費用が増大したことにより減益となりました。

以上の結果、売上高508億15百万円（前年同期比126億41百万円増）、営業利益2億32百万円（前年同期比1億57百万円減）、経常利益2億63百万円（前年同期比1億98百万円減）、四半期純利益1億40百万円（前年同期比1億6百万円減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期会計期間より、従来の「水産物卸売事業」から「水産食品事業」へと報告セグメント名称を変更しております。なお、当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

① 冷蔵倉庫事業セグメント

冷蔵倉庫事業セグメントは、既存事業所が前年並みの売上高を確保したことに加え、市川物流センターの新設に伴い、売上高は37億29百万円（前年同期比5億2百万円増）となりました。営業利益は既存事業所の経費削減効果により、2億54百万円（前年同期比51百万円増）となりました。

② 水産食品事業セグメント

水産食品事業セグメントは、リテールサポート部門における新規顧客との取引ならびに市川流通センターの新設により売上高は増加したものの、それに伴う経費が大幅に増大したことにより、売上高は470億86百万円（前年同期比121億39百万円増）となり、営業損失は21百万円（前年同期は営業利益1億87百万円）となりました。

セグメント業績の詳細については「4. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比43億52百万円増加し、288億67百万円となりました。

流動資産は、売上債権の増加等により、前期末比49億90百万円増加の133億47百万円となりました。

固定資産は、前期末比6億37百万円減少の155億20百万円となりました。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比43億60百万円増加し、231億48百万円となりました。

流動負債は、仕入債務や借入金の増加等により前期末比50億14百万円増加し、141億40百万円となりました。

固定負債は、借入金の返済等により前期末比6億53百万円減少し、90億8百万円となりました。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、第3四半期累計期間純利益1億40百万円となったものの、株主配当金の支払1億67百万円等により、前期末比8百万円減少の57億19百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想は、平成26年10月30日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,214	886
受取手形及び売掛金	4,127	9,557
商品及び製品	1,877	2,015
原材料及び貯蔵品	26	29
関係会社預け金	658	559
繰延税金資産	57	57
その他	418	264
貸倒引当金	△23	△23
流動資産合計	8,356	13,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,188	17,203
減価償却累計額	△7,633	△8,100
建物及び構築物(純額)	9,555	9,102
機械装置及び運搬具	3,677	3,730
減価償却累計額	△2,422	△2,581
機械装置及び運搬具(純額)	1,255	1,149
工具、器具及び備品	403	413
減価償却累計額	△222	△253
工具、器具及び備品(純額)	180	160
土地	3,304	3,300
リース資産	576	605
減価償却累計額	△212	△259
リース資産(純額)	364	346
有形固定資産合計	14,659	14,058
無形固定資産		
のれん	706	648
その他	200	200
無形固定資産合計	907	848
投資その他の資産		
投資有価証券	305	348
長期貸付金	5	5
繰延税金資産	148	133
その他	132	125
投資その他の資産合計	591	613
固定資産合計	16,158	15,520
資産合計	24,515	28,867

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,326	8,259
1年内返済予定の長期借入金	133	416
1年内返済予定の関係会社長期借入金	394	360
短期借入金	2,175	2,175
関係会社短期借入金	800	1,200
リース債務	115	119
未払法人税等	96	58
賞与引当金	75	21
役員賞与引当金	14	10
その他	995	1,518
流動負債合計	9,125	14,140
固定負債		
長期借入金	4,993	4,681
関係会社長期借入金	3,101	2,840
リース債務	252	229
退職給付に係る負債	891	871
本社移転損失引当金	147	147
繰延税金負債	—	1
長期預り保証金	6	6
長期未払金	122	110
負ののれん	146	119
固定負債合計	9,662	9,008
負債合計	18,787	23,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,485	2,485
資本剰余金	1,220	1,220
利益剰余金	1,675	1,648
自己株式	△1	△1
株主資本合計	5,379	5,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	54
その他の包括利益累計額合計	26	54
少数株主持分	320	312
純資産合計	5,727	5,719
負債純資産合計	24,515	28,867

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	38,173	50,815
売上原価	34,767	46,938
売上総利益	3,405	3,877
販売費及び一般管理費	3,014	3,644
営業利益	390	232
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	1	2
補助金収入	17	—
負ののれん償却額	27	27
雑収入	96	111
営業外収益合計	147	142
営業外費用		
支払利息	75	106
雑支出	1	5
営業外費用合計	76	112
経常利益	461	263
特別利益		
関係会社株式売却益	63	—
特別利益合計	63	—
特別損失		
割増退職金	—	1
損害賠償金	—	6
事務所移転費用	1	—
特別損失合計	1	8
税金等調整前四半期純利益	522	254
法人税等	232	118
少数株主損益調整前四半期純利益	290	136
少数株主利益又は少数株主損失(△)	43	△3
四半期純利益	247	140

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	290	136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	27
その他の包括利益合計	17	27
四半期包括利益	308	163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	264	167
少数株主に係る四半期包括利益	43	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,226	34,946	38,173	—	38,173
セグメント間の内部売上高又は振替高	69	14	84	△84	—
計	3,296	34,960	38,257	△84	38,173
セグメント利益	202	187	390	—	390

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「水産食品事業」において、株式会社千日総本社から事業を譲り受けたことにより、のれんが発生している。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において777百万円である。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)1
	冷蔵倉庫事業	水産食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,729	47,086	50,815	—	50,815
セグメント間の内部売上高又は振替高	159	7	167	△167	—
計	3,888	47,094	50,982	△167	50,815
セグメント利益又は損失 (△)	254	△21	232	—	232

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

2. 第1四半期連結会計期間より、従来の「水産物卸売事業」から「水産食品事業」へと報告セグメント名称を変更している。なお、当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はない。